

平成30年度の学校評価

本年度の重点目標		生徒指導、学習指導及び進路指導を充実させ、信頼される学校づくりを目指す。	
項目	重点目標	具体的方策	留意事項
学習指導	学習習慣の確立	家庭学習の充実を図り、学習習慣の確立と学力の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の授業と家庭学習の一体化を目指す。そのための課題を課すことにより、家庭における予習・復習への取り組みを習慣化させる。また生活記録表の記入をとおして、家庭での学習状況を自己管理させることにより、学習に対する意欲を向上させる。
	確かな学力の育成	継続的な授業改善を図り、確かな学力を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に対する授業アンケートを今年度も継続して実施し、アンケートの分析等により、客観的な視点で効果的な授業改善を図る。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	身だしなみ指導や欠席、遅刻防止指導や交通安全マナー指導の確立を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な身だしなみ指導でルールを確認させ、日常の身だしなみについて全教員で指導する。違反常習生徒には「生徒指導カード」を活用する。 生徒指導部が毎日の出欠状況を管理し、該当生徒の早期発見、段階的指導や相談をすみやかにおこなう。 年度始めの校外登下校指導を学校全体で積極的に行い生徒に交通マナーを遵守させ、地域の協力を得る。
	豊かな心の育成	学校行事等への積極的な参加やボランティア活動への参加を働きかける。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会を中心に魅力ある行事内容に改善を図り、生徒が満足感、有用感を感じられるものにしていく。 ボランティア同好会を中心に参加生徒を増やしていく。ボランティアの意義について機会あるごとに話をして一般の生徒も参加できるような雰囲気工夫していく。
	いじめ防止	いじめ禁止・防止活動やいじめ認知の情報収集を定期的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> 入学式や全校集会でいじめは絶対に許されない行為であることの話をする。 定期的ないじめ調査や相談委員会をおこない、いじめの早期発見に努める。 いじめ問題に対しては毅然とした指導を行う。
進路指導	進路選択能力の育成	段階的かつ継続的に進路ガイダンスを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が進路について考える一助となるよう、各学年の段階に応じた進路ガイダンスを計画実施する。特に1年次のキャリアプランニング能力の促進を目的とした外部講師による講演、2年次の文理別、学問分野別ガイダンスなどを充実させたい。
	進路目標の実現	個々の志望と適性に合った進路選択を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 進路検討会等を通して、各学年会組織及び各学級担任の円滑な進路指導を支援する。個々の生徒の適性、進路志望を、担任のみならず、学年団教員で情報を共有し、意見を交わし生徒及び保護者面談を充実させる。
保 健	環境整備の推進	全員清掃及び汚させない指導の徹底を図る。 安全点検を確実にしない危険箇所をなくす。	<ul style="list-style-type: none"> 自ら率先して、清掃や校内美化に取り組む姿勢や態度を育てる。 教室環境の整頓、ゴミの持ち帰り指導の徹底を図る。 安全点検を確実にしない、処置を早急に行わない、危険な箇所をなくす。
	教員の長時間労働による健康障害の防止	安全衛生委員会を通じた勤務時間の適正な管理と教職員の健康維持に配慮した体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> 在校時間等の状況調査の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努める。 定時退校日を周知徹底する。
	教育相談の推進	校内組織の連携と効率化を図る。情報の共有を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 担任、学年主任、スクールカウンセラー、その他の関係職員の情報共有の充実を図り、生徒に対するきめ細やかな相談、指導を実施する。
図書研修	図書貸出数の増加	図書館の利用を呼びかけ、来館者、貸出冊数の増加を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> タイミングをとらえた来館案内ボード、「らいぶらりい」のクラス掲示、来館者が心落ち着ける雰囲気作りを、図書委員とともにすすめる。

	現職研修の充実	AED講習会、進路に関する研修会を実施し、多くの職員の参加を促す。	・新テストの動向を見すえ、進路指導部と相談しながら、参加職員にわかりやすい内容を講師に依頼する。
総務	保護者との連携	PTA活動の活性化を図る。	・PTA役員との協力関係をこれまで以上に強化するとともに、評議員との意見交換ができる機会を増やせるようにした。
	防災意識の充実	防災意識の向上に努める。	・昨年度作成した「激甚災害時の行動マニュアル」の内容を職員に周知徹底し、第2回防災訓練に臨めるようにする。
学校関係者評価をする 主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導における基本的生活習慣の確立について ・学習指導における学習習慣の確立、基礎基本の徹底、授業改善の推進について ・生徒の能力、適正に応じた進路指導の実現について ・平成32年度からの大学入試共通テストに向けた対策の取組について 	

平成29年度の学校評価

○自己評価結果等

本年度の重点目標		生徒指導、学習指導及び進路指導を充実させ、信頼される学校づくりを目指す。	
項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学習指導	学習習慣の確立と基礎基本の徹底	家庭における授業の予習や復習、課題への取り組みをとおして、学習習慣の定着、基礎学力の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業・定期考査・小テスト・週間課題がうまく連動した形で学習指導が行われている。特に、長期休業中の課題への指導は教科担任と学年団がうまく連携し、粘り強い指導がなされている。 ・学習習慣の定着は、担任が学習記録表を通して、生徒の日々学習状況を把握し、学習習慣の定着へのアドバイスをを行っている。
	授業改善と確かな学力の育成	継続的な授業改善を図り確かな学力を身に付けさせる。	・今年度も「授業充実に関するアンケート」を実施した。5年目ということもあり、生徒も教員もアンケート慣れている部分もあるが、アンケート結果の分析を行い、授業改善に向けた取組が必要である。
生徒指導	基本的生活習慣の確立	身だしなみ指導や欠席、遅刻防止指導や交通安全マナー指導の確立を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻指数が昨年度0.35から0.39と微増した。不登校生徒対応の影響である。交通事故件数は昨年度9件から20件と増加した。自転車の安全運転指導の強化が必要である。 ・生活・健康調査や面談を通していじめや人間関係の問題解決務めている。毎月の相談委員会で生徒の心の悩みについての情報を交換し、学校全体で組織としていじめ等の早期発見、解決に取り組んでいる。
	豊かな心の育成	学校行事等への積極的な参加やボランティア活動への参加を働きかける。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心に学校祭で団Tシャツを作り、生徒の意識を高め大いに盛り上げることができた。来年度は文化祭が市民文化会館から学校に移り、各団ブースの出店が計画される、新たな試みである。 ・ボランティアについて参加生徒が280名から263名と減少した。生徒会を中心にボランティア同好会が設立された。来年度は参加生徒が増加すること期待している。
進路指導	進路選択能力の育成	段階的かつ継続的に進路ガイダンスを実施する。	・各学年の段階に応じた進路ガイダンスとしては、生徒の進路意識の向上に一定の成果を上げている。特に学習面、受験、大学紹介といった分野は充実した内容である。1年次のキャリアプランニング能力の促進を目的とした外部講師による講演、2年次の文理別、学問分野別ガイダンスなど、今後改善を試みたい。
	進路目標の実現	個々の志望と適性に応じた進路選択を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の適性に応じたきめ細かい進路指導を支援するために、2・3年生で進路検討会を実施している。担任のみならず、学年団教員で情報を共有し、意見を交わし有意義な機会とすることができた。3年次12月は文系私大検討に加え国公立検討を別日程で追加した。2年次秋の検討会は検討目的を再確認し方法を模索したい。

保 健	環境整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・全員清掃及び汚さない指導の徹底を図る。 ・安全点検を確実にしない、危険箇所をなくす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のゴミの持ち帰りが徹底でき、ゴミを出さない習慣もついてきた。また、全員清掃の指導も各先生方の指示に従いできるようになってきた。特に外庭清掃がしっかりできている。安全点検をしっかり行うことができ、修理箇所についてはすぐ報告があがり修繕できた。来年度についても引き続き行ないたい。
	教育相談の充実	校内組織の連携と効率化を図る。情報の共有を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・相談部会を頻繁に行い、担任、学年主任、スクールカウンセラーとの情報共有が十分にできた。また、相談委員会も充実させることができた。今後も、問題を抱える生徒が増加しそうなのでしっかりサポートをしていきたい。
図書研修	図書貸し出し数の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館来館者と貸出数の増加のための呼び掛けと、「ポイントカード」の活用と充実 ・上級学年の生徒も継続的に来館したくなるような工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べ約600冊の貸出増加となった。タイミングをとらえた広報ボード、「らいぶらりい」の発行と掲示、ポイントカードの定着、図書館の雰囲気作りが成果を上げてきた。
	広報活動の充実	ウェブページや「東高だより」で本校の教育活動をPRする。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校向けの「東高だより」は5回の発行ができた。ウェブページは、更新頻度を更に上げていく必要がある。
	現職研修の充実	学校現場で教員の役に立ち、またためになる研修を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・AED講習会と、新テストに関する研修会を行った。新テストの動向が見えてきたので、学校としての体制づくりに結びつけた。
総 務	PTA活動をとおした家庭との連携	PTA総会、役員会、評議員会、学年別研修会等でPTA会委員が意見を出しやすい環境をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA役員会及び評議員との密度の濃い協議は、今年度も継続できた。今後は、一般会員への情報発信について考えていきたい。 ・学年別研修会を、PTA役員の意見を取り入れた内容に改善していきたい。
	防災対策の充実	生徒が通学途中の緊急避難所等を確認し、家庭でもそのことを話題にするような機会をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回防災訓練で、グラウンドから体育館への動線確認をしたあと、各教室へ戻り、例年よりも時間をかけて避難所等の確認をすることができた。
総合評価		<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導、生徒指導、部活動指導など各方面で良い成果を上げることができたが、さらに向上させるための課題点も明らかになってきた。 ・生徒のゴミの持ち帰り指導や生徒を含めたAED操作訓練研修等で、生徒の社会参画意識が涵養されつつある。一方で、自転車の交通マナーに関する地域からの苦情や生徒からの相談件数の増加など今後の適切な対応が必要になっている。 	

○学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導、学習指導及び進路指導を充実させ、信頼できる学校づくりを目指す指導について
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価については、多面的になされており、反省点・課題点も挙げられており評価できる。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の一層の習熟錬成を図りつつ、能力・適性・進路に応じた指導をするとともに、国際感覚を備えた日本人の資質を育成し、心身ともに健全な人間を育成する。厳しさも必要である。
その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)	<ul style="list-style-type: none"> ・知・徳・体のバランスのとれた教育がなされており、厳しさと愛情あふれる様子が見て取れる。 ・生徒の進路指導への信頼度が保護者にも上手く伝わるような工夫があると更に良い。 ・アクティブ・ラーニングの動向を把握し、授業に生かして欲しい。 ・書物に親しむ機会を増加させる工夫が成果を挙げつつある。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> ・構成…学校評議員3名、校長、教頭2名、事務長 ・評価時期…3月上旬